



公益社団法人 沖縄県理学療法士協会

THE KOHO



11 月

Vol. 11.2013.

通巻 No. 335

第 262 号

巻頭言

「一人ひとりの社会貢献の意識」

私たち理学療法士が患者様と現場で関わる為には、まず、急性期での生命の危機を脱し、病状を安定させ、体力・健康を取り戻して頂けなければなりません。私たちが関わるできない領域(救命・延命の医療現場)でも関わるできないか。身体の中からも元気にすることが出来るのではないか。理学療法士協会ができる社会貢献の一つとして、献血推進事業をスタートさせました。現在の血液事業では、若い年代の献血者が減少し厳しい状況となっています。少子高齢化社会の中で、当会は若い世代の会員が多く在籍しているので、組織が取り組んでいる献血推進事業の目的を、若い会員に理解して頂き、社会貢献の意識を芽生えさせることが出来れば、献血者の底辺が広がるものと思われまます。若い世代を抱えた団体や会社組織が同じように推進することが出来れば、『点から線、線から社会全体で支える面へ取り組み』へと展開できるのではないかと考えます。理想としては、新聞・ラジオからは、血液不足の広報が無くなり献血月間となっている団体・会社・個人の名称が紹介される。いつでも十分な血液が確保され、救命率が上がり、安心して生活できる社会になるという状況です。一人ひとりの意識が変われば、大きな社会貢献へと繋がります。勇気を持って一步を踏み出しましょう。『きっと良い事が待っている そんな気がする』



社会職能局 渉外部 部長 宮里朝康

INDEX

巻頭言P1	事務局便りP5
沖縄臨床理学療法研究会開催P2	学術局便りP6・7
通所リハ情報交換会開催P2・3	沖縄県理学療法士協会主催講習会P7・8
第2回沖縄理学療法講習会P3	他団体主催講習会P8・9
第49回日本理学療法学会学術研修大会参加P4	献血推進事業P10
理事会報告P4・5	広報部便りP10

発行:公益社団法人 沖縄県理学療法士協会 事務所
 〒904-0032 沖縄県沖縄市諸見里1丁目4号22番301号 TEL&FAX:098-930-5023
 URL <http://www.oki-pt.jp/> E-mail: optaoffice@oki-pt.jp



沖縄臨床理学療法研究会 開催

今年初めて「沖縄臨床理学療法研究会」が下記の趣旨の下、開催されました。会の様子をお伝えするため広報部も研修に参加しました。

【研究会開催の趣意】

沖縄県理学療法士協会の会員数は1300名を超え、県内における理学療法も多種多様化してきました。「臨床における理学療法」について、理学療法士が率直に議論を重ね、理論と技術の向上を図るために努力することは、意義深く、理学療法士に対する社会の要請であると存じます。本研究会の目的は、臨床における理学療法の理論と技術についての研究を推進し、対象となる県民の保健・医療・福祉に寄与することにあります。そのためには、臨床における理学療法について理学療法士が情報を交換し、討議する場を提供することが重要となってきています。（教育学術局長 古堅貞則）

第1回テーマ「歩行のみかた」



熱心な討議をする参加者

去る10月13日沖縄リハビリテーション福祉学院にて、教育学術部主催の講習会に参加してきました。今回の講習会は「臨床における理学療法士のディスカッションにて理論と技術の向上を図る！」と言った趣意で開催されました。講師は県内で活躍している、よぞクリニック理学療法士川端哲弥先生と大浜第二病院理学療法士末吉恒一郎先生を招いて、整形疾患、中枢神経疾患の症例を通して、今回のテーマである「歩行のみかた」をグループでディスカッションしていきました。参加者の多くは臨床経験3年未満でしたが、グループ内では先輩方と同じように自分の意見を述べていました。歩行をみる時には何をポイントにするのか、現象から考えられる評価や治療の選択など施設や経験が違う理学療法士とのディスカッションは評価を共有できたり、新しい見方に気づかされたりとても新鮮でした。川端先生は歩行を見る時にいつも「混沌」している。とのことでした。歩行に限らず、経験年数が経ても理学療法を施術する中で混沌としているものに対し、探究心を持って学ぶ、そして積極的にディスカッションすることの面白さを学ぶことができました。臨床現場において先輩への相談、後輩への指導が自分の考えを振り返ることができ、互いの技術向上に繋がりが活かされると思いました。講習会の内容については学術誌に記載予定です。



よぞクリニック
川端哲弥氏

取材：国場・宮城



大浜第二病院
末吉恒一郎氏

通所リハ情報交換会 開催

活動が活発になってきている通所リハ推進部。今回は10月8日に宜野湾記念病院リハビリ室で行われた情報交換会にお邪魔しました。今回は下記の内容のケーススタディを実施しました。

- ①「万全ではなかった利用者に対する安全対策」
- ②「階段昇降機を導入した事例」
- ③「脳卒中片麻痺の利用者、ゴルフ活動再獲得に向けての歩み」
- ④「重度四肢麻痺の方に対する本人・家族支援～在宅生活が円滑になった事例～」



松城クリニック
島袋林史氏



通所リハビリテーション
ぎのわん 松並健治氏



ごきげんリハビリ
クリニック山城政史氏



与那原在宅センター
慶田花敦氏

今回、通所リハ推進部では、初めての試みとなるケーススタディ形式での情報交換会を行いました。17ヶ所の事業所・施設から約20名が参加し、今回は4施設から1例ずつ取り上げて行いました。

内容としては、安全対策への配慮、福祉用具の活用、利用者様のやりがい（ゴルフなど）の提供、利用者様やご家族様との関わりから得られた気づきなど、課題や対応策、それらから得た事を取り上げていました。

質疑応答では、対応策の内容をより具体的に確認する場面や、各施設での取り組み方を提供し合うなど、前向きに具体的にどう取り組んでいくと良いか次々と質問や意見を出し合う貴重な場となりました。

各事例とも課題や対応策などは異なりましたが、共通していた事は『ご本人様やご家族様の精神面への気づきと対応』がサービスを充実させるために求められているという点でした。いかに気づきが必要かを考えるためには、日頃から各職種との連携を図り情報収集・情報共有を行う事、そして幅広い知識・視野を持ちつつ専門職としてのスキルアップを図る事が重要だと再認識する場となりました。通所リハ推進部では今後も情報交換会を実施していきます。活動内容は通所リハにおける意見交換や在宅サービスに関わる職種との情報交換などを予定しています。日程は決まり次第随時案内を出していきます。（取材：仲吉）



多くの会員が集まった会場

第2回沖縄理学療法講習会



平成25年度第2回 沖縄理学療法講習会を終えて ～受講者の感想～

呉屋 盛彦（沖縄リハビリテーションセンター病院）

第2回講習会では、永井聡先生による「下肢関節疾患の理学療法～股関節を中心に～」の理学療法について講義いただきました。レントゲン1つから、大腿骨の回旋・脚長差・体幹の短縮・側彎といった構造的な状態や、疼痛の訴え、姿勢分析や動作分析まで、様々なことが予測出来るとご紹介いただきました。こうした情報を得ることで、すばやく適切な評価を行い、より良い治療を患者様に提供することができると感じました。我々理学療法士は異常歩行を正常歩行に近づけようと治療を施行して

います。しかし必ずしも正常歩行に近づけるだけが治療ではないという話も興味深いものでした。

「患者様に効果のある、POMを施行することにより、理学療法は発展する。」という言葉のように、常に向上心を持ち患者様により良い治療を提供できるように、これから日々学んで行きたいと思えます。貴重な講習会ありがとうございました。



「第49回日本理学療法学術研修大会に参加して」

沖縄リハビリテーションセンター病院 宮里 宗忠



平成25年10月4日（金）・5日（土）の2日間に渡り、静岡県浜松市アクトシティー浜松にて第49回日本理学療法学術研修大会が開催されました。大会は全国より2,600名を超える多くの方々が参加し、無事盛会のうちに終了しました。

研修大会に参加した経緯は、現在理学療法士のキャリアが9年目に差し掛かり理学療法士としての自分を見つめ直すきっかけ作りの為です。また、理学療法士の分野をとっても診療報酬の問題やプロフェッショナルとしての価値等、様々な課題が挙げられます。これからの日本の理学療法士に何が必要なのかを学ぶ機会となればという思いもありました。

今回の研修大会のテーマは、「理学療法の針路を問う」とし、理学療法の様々な領域における課題を共有したうえで、それぞれの「針路」について再考するというものでした。今、日本社会は少子高齢社会という激動の変化の時代に直面しております。理学療法士を取り巻く環境の変化に鋭敏に捉える必要があります。常に最新の医療や治療技術等の情報にアンテナを張る事が必要になると思います。大会基調講演では「再生医療が本格化し、障害を持った方々の機能が再生されるようになった場合、理学療法にも大きなパラダイムシフトが求められる」と述べられていた。そして、最も心に響いた言葉があり、チャールズ・ダーウィンの言葉を引用し、「強い者が生き残ったわけではない。賢い者が生き残ったわけでもない。変化に対応したものが生き残ったのだ。」大会長基調講演で内田成男氏の締めくくりで述べられておりました。そういう意味でも、ぜひ会員の皆さんも、意識的に全国規模の研修会に参加する事、理学療法士協会の広報誌やホームページなどから最新の情報を取り入れアンテナを張り巡らすとよいと思います。

理事会報告

[平成25年度第7回 理事会] ☆詳細については当会ホームページを参照してください。

日時：平成25年10月9日（水）19：00～21:30 場所：翔南病院会議室（〒904-0034沖縄県沖縄市山内3-14-28）

[審議事項]

第1号議案 平成25年度第1回九州ブロック各県理学療法士会長会議並びに合同士会長会議への議案提出について（会長）

議案内容	上記開催に際し、当協会より九州ブロックに対し、議案提出ならば要望等があれば審議頂きたい。また、会議参加者の選出をお願いする。 ①平成25年度第1回九州ブロック各県理学療法士会長会議 日時；平成25年11月22日（金）15：00～17:00 場所；熊本市国際交流会館 4階 会議室1 ②平成25年度九州PT・OT合同士会長会議 日時；平成25年11月22日（金）17：00～19:00 場所；熊本市国際交流会館 3階 国際会議室
審議結果	提案ならびに要望なし。 出席者：池城正浩、城間定治 担当局： 担当部：

第2号議案 平成25年度優勝賞 受賞者の選定（表彰委員会）

議案内容	当会表彰審査委員会により、平成25年度優秀賞候補者が選出されました。つきましては、平成25年度優秀賞の選定について審議していただきたい。
審議結果	優秀賞2名を選出。本人確認を行い、沖縄県理学療法学術大会内で表彰式を行う。 総務部が出席確認する。 担当局：表彰審査委員会 担当部：

[報告事項]

1. 会長 ※月次活動報告
 - ・ 県庁 介護予防検討会議 9/12
 - ・ JICA沖縄 草の根技術協力事業 マネジメント説明会 9/20
2. 副会長 ※月次活動報告
 - ・ 県庁 介護予防検討会議 9/12

3. 事務局 ※月次活動報告

- ・都道府県理学療法士会事務局長会議 平成26年度重点課題
- ・H25 9/12～H25 10/9までの収受文書・発行文書表

【会員動向報告】※平成25年10月9日現在

会員数：1353名、施設所属会員数：1235名、自宅会員数118名 会員所属施設数：234施設

[期間会員動向] 平成25年9月12日～10月9日※協会承認済

異動：10名（県内：6名 転入：2名 転出：2名）

休会：0名 退会：0名 復会：1名

4. 社会職能局 ※月次活動報告

- ・なごみ会主催県民健康フェア第6回実行委員会
- ・訪問リハ推進部 定期勉強会 9/18 ・通所リハ推進部 情報交換会 10/8

5. 教育学術局 ※月次活動報告

第2回沖縄県理学療法講習会9/15

6. 各種委員会

[表彰審査委員会]

- ・平成25年度 優秀賞審査

[学術大会実行委員会]

- ・第15回沖縄県理学療法学術大会 第10回会議報告

事務局便り

■■注意■■異動申請 お手続きをお願いします！

勤務先、自宅、氏名など会員情報が変更になった際は、速やかに会員情報の変更申請をお願いします。お手続きは「マイページ」から、お早めにお問い合わせいたします。

会費納入について

※楽天カードへ入会していないと会費の引き落としができません。楽天カードの申込みを再度ご確認ください。

楽天カードによるクレジット決済か口座振替となっております。両方に登録のない方へは協会本部よりコンビニ振込用紙が送付されています。支払期限を確認のうえ速やかに納入して下さい。領収書が必要な方は直接日本理学療法士協会 (FAX:03-5414-7913 E-mail:jpta@i.bekkoame.ne.jp) へお問合せ下さい。

会費に関する問合せ

沖縄県理学療法士協会財務担当理事: 運天智子 E-mail:optazaimu@gmail.com

事務所メールアドレス変更のお知らせ

この度、メールサーバ変更に伴い、事務所メールアドレスを変更致しました。平成25年11月1日より下記のメールアドレスへ変更しますので、お間違のないようアドレス等の変更をお願い致します。

事務所メールアドレス optaoffice@oki-pt.jp

【休会期間に関するお知らせ】

平成24年度より休会期間が1年間となり、休会の手続きは毎年必要となっております。平成25年3月末までに休会継続の手続きがお済でない方は退会扱いとなります。この度、制度周知が十分でないことから多くの会員が退会扱いとされる見込みです。その対策として先日の日本理学療法士協会理事会で休会期間経過退会扱いを1年延期することになりました。

沖縄県の会員は21名の方が対象となっております、手続きがなければ退会扱いとなりますのでご周知くださいますようお願いいたします。

沖縄県理学療法士協会スケジュール 2013年11月・12月・平成26年1月

11月

2日(土)	倫理担当者研修会(JPTA)
9日(土)	九州ブロック現職者講習会(宮崎県)
9・10日	国際協力・交流フェスティバル2013
10日(日)	第15回沖縄県理学療法学術大会
23・24日	第35回九州理学療法士・作業療法士合同学会

12月

1日(日)	第4回沖縄理学療法講習会
15日(日)	組織運営協議会(日本理学療法士協会)

1月

12日(日)	第5回沖縄県理学療法講習会
23日(木)	介護予防従事者研修会(沖縄県理学療法士協会主催)

教育学術局便り(研修部)

第4回沖縄理学療法講習会 在宅支援・高齢者 理学療法のスペシャリスト☆

訪問リハビリの最前線から、在宅へ一歩を踏み出そうとしている療法士に贈られた『はじめての訪問リハビリテーション』の著者が、現場で蓄積した在宅支援のノウハウをここ沖縄でお伝えします!! 自己の視野を広げ、思考を磨き上げるチャンスです。

講師：吉良健司 (在宅リハビリ研究所 所長・株式会社らいさす)

テーマ：「訪問リハビリテーションの中での理学療法のブラッシュアップ」

日時：平成25年12月01日(日) オリエンテーション 9:20～ 開演 10:00～13:00

会場：沖縄リハビリテーション福祉学院 5F 視聴覚室(定員100名) ※定員に達し次第締切り致します

締切：11月17日(日)迄

備考：生涯学習システム「単位読替えテーマ」と「ポイント」

- ・新人教育プログラム未修了者 →読替えテーマ：C-4 高齢者の理学療法 C-5 地域リハビリテーション
- ・新人教育プログラム修了者 →10ポイント

【著書】訪問リハビリ入門 (日本看護協会出版会) はじめての訪問リハビリテーション (医学書院)
高齢者・障害者の生活を支える福祉機器Ⅱ (東京都高齢者研究・福祉振興財団)

第5回 沖縄理学療法講習会 スポーツ 理学療法のスペシャリスト☆

1995年から甲子園の裏舞台で数多くの選手を支え、高野連による肩・肘の傷害予防の啓蒙活動に携わってきたスポーツ理学療法のスペシャリスト。国際大会の帯同経験も豊富で、治療から予防の分野まで現場で求められる知識を学ぼう!

講師：小柳磨毅 (大阪電気通信大学 医療福祉工学部 理学療法学科 教授)

テーマ：「スポーツ傷害の理学療法 ～治療と予防～」

日時：平成26年01月12日(日) オリエンテーション 9:20～ 開演 10:00～13:00

会場：沖縄リハビリテーション福祉学院 5F 視聴覚室(定員100名) ※定員に達し次第締切り致します

締切：12月29日(日)迄

備考：生涯学習システム「単位読替えテーマ」と「ポイント」

- ・新人教育プログラム未修了者 →読替えテーマ：C-2 運動器疾患の理学療法
- ・新人教育プログラム修了者 →10ポイント

【著書】

肩のリハビリテーションの科学的基礎 (NAP) ストレッチングアスリートケアマニュアル (文光堂)
実践PTノート運動器傷害の理学療法 (三輪書店) スポーツ傷害の理学療法 (三輪書店)

【帯同経歴】

1988年 ユニバーシアード夏季大会 (ザグレブ) 日本選手団 理学療法士

1990年 アジア大会 (北京) 日本選手団理学療法士

1992年 アルベールビル冬季五輪 日本選手団理学療法士 他国際大会帯同多数

■■沖縄理学療法講習会に関する説明事項■■

1. 理学療法士を含む医療従事者を対象とした講習会です。
2. 生涯学習システムの「単位読替え」や「ポイント付与」が認定された講習会です。
※「日本糖尿病療養指導士の認定更新のための研修会」として認定された講習会です。
3. 講習会への参加を希望される方は、メールにてお申込みください。

【宛先】 ptgaku@gmail.com

【件名】 「第○回 沖縄理学療法講習会 申込み」

【記入事項】 ①会員番号、②氏名、③所属名、④メールアドレス、⑤職種(PT以外の職種)

※④携帯からの申込みは、個人設定により受信されない場合がありますのでご遠慮下さい。

※⑤理学療法士以外の職種の方のみ、ご記入ください。

4. お申込み頂いた後に、担当者から受講可否の連絡を差し上げます。締切日までに連絡がない場合は、メールにてお問い合わせください。

【問合せ先】 与那原中央病院リハビリテーション科(研修担当：平山良樹)

TEL:098-945-8101/FAX:098-945-8106

5. 講習会へ参加される場合、「会員証」をお持ちいただくと受付の手続きが簡単になります。
6. 受講費は、会員2,000円、非会員3,000円です。

※両替作業の削減及び手続き時間の短縮化を図るため、「お釣り」が無いように! 準備をお願いします。



7. 受付は、オリエンテーション後に行います。オリエンテーションの時間までに来場して頂けることで、受付・会計作業が円滑に行えます。ご理解とご協力をお願いします。
8. 生涯学習に関する質問やお問い合わせは、休憩時間をお願いします。
質問内容は、「問い合わせ書」に記入して提出してください。後日ご返答いたします。
※「問い合わせ書」→沖縄県理学療法士協会ホームページ(会員の方のみ)
9. 諸事情により退室する場合は、係に了解を得てください。

教育学術局便り(研究支援部)

あなたの研究発表がキャリアアップへ繋がる!!

教育学術局研究支援部では、『平成25年度 理学療法沖縄』への投稿論文を募集しております!!

当学術誌に論文投稿することで次のようなメリットがあります。

■ 専門及び認定理学療法士資格取得の“履修ポイント加算”も認められています!!

当県士会学術誌に論文掲載されることで、日本理学療法士会が定める専門及び認定理学療法士資格取得および更新に関わる履修ポイントとして、筆頭演者は40ポイント、共同演者も5ポイントが認められています。あなたの目指す専門資格を取得する一助にすることもできます!!

■ “論文検索”するとあなたの論文がヒットするようになります!!

当県士会の学術誌は国際標準逐次刊行物番号 (ISSN) にて規格化され、登録しています。国立国会図書館、J-grobal、医中誌などにも登録、保管されています。国際的にも認められている学術誌です。

【ISSN 1881-4719】

■ 研究に対する疑問・質問に対する “サポート” もあります!!

当学術誌に投稿するにあたって、研究デザインや統計的な検討点、その他、疑問点などがありましたら、沖縄県理学療法士会 教育学術局 研究支援部にてサポートしております。些細な点でもどうぞお気軽にご相談ください。

■ 何より一番自分自身の “力” になります!!

論文を作成する過程において、周辺知識を調べたり、共著者とのディスカッションを通して自分自身の知識の整理となり、振り返ってみるとそれが理学療法士としての底力になっていくと考えています。

理学療法士が急増する現状や情報が飛び交う今だからこそ、自分自身のアイデンティティを模索しませんか??

どんな些細なことでもお気軽にお問い合わせ下さい。

会員の皆さまの投稿をお待ちしております!!



<お問い合わせ先>

研究支援部 部長 島袋雄樹
副部長 砂川元

E-mail : oki_pt_kenkyuusien@yahoo.co.jp

TEL : 098-982-1761

沖縄県理学療法士協会 主催 研修・講習会

沖縄県理学療法士会 訪問リハビリテーション推進部 勉強会のお知らせ

今回、下記の日程で勉強会を開催いたします。参加を希望される方は下記の方法で申し込み頂きますようご案内申し上げます。

【開催概要】

テーマ：障害者の就労について ～就労移行支援との関わり～

講師：(社)那覇市身体障害者福祉協会・指定就労移行支援事業所
障害者就労支援センターさわやか 赤嶺徳郎氏

日時：平成25年11月20日(第3水) 19時00分～21時00分

場所：大浜第二病院 おもととよみの杜 2F ふれあいホール

沖縄県豊見城市渡嘉敷150番地 電話：098-851-0100(代)

対象：在宅でのリハビリに実務している方・興味のある方・ケアマネ・訪看・ヘルパーさんなど

参加費：無料 *理学療法士で県士会費未納の方については500円徴収します。

作業療法士会地域連携リハ研究会・沖縄県言語聴覚士訪問リハ委員会と共同開催します

今回の勉強会は上記のテーマで開催します。内容としては「障害者就労支援センターさわやか」様の赤嶺氏を講師に招き「障害者の就労、就労移行についての講義と参加者とのディスカッション」を予定しています。この機会に就労支援に携わる赤嶺氏にいろいろ教えて頂きながら楽しく学んでみませんか。訪問リハビリに限らず、在宅生活の支援に関わる皆様との情報の共有も目的としております。会場でお会いできる事を楽しみにしています。

【申し込み方法と問い合わせ先】下記の内容を記載の上、メールにてお申し込み下さい

①氏名 ②所属と事業所の所在市町村 ③職種 ④県士会 会員・非会員

メールでの申し込み・問い合わせ houmonreha58@gmail.com

申し込み〆切：当日13時まで（資料・会場準備のため）

訪問リハ推進部 部長 桑江睦子（大道中央病院 訪問リハビリテーション）

他団体主催 研修・講習会

（公社）日本理学療法士協会主催 脳卒中認定理学療法士必須研修会

脳卒中理学療法の基礎を学ぶ研修会です。認定理学療法士（脳卒中）取得のための必須研修会ですが、受験しない方や新人プログラム未修了の方も受講していただけます（新プロ未修了の方は修了証は出ません）。

※生涯学習ポイント20ポイント付与（神経）。

日時：平成25年11月30日（土）9時～16時30分 場所：沖縄リハビリテーション福祉学院

[内 容] 1. 脳卒中の病態と治療（9:00～10:30） 2. 高次脳機能障害の評価と理学療法（10:40～12:10）
3. 脳卒中急性期・早期の理学療法（13:00～14:30） 4. 脳卒中回復期の理学療法（14:40～16:10）

[講 師]・銘苅 晋（医師）浦添総合病院 ・網本 和 首都大学東京
・吉村恵三 公立学校共済組合九州中央病院 ・吉尾雅春 千里リハビリテーション病院

受講費：3,000円 定員：100名 申込締切：11月10日（日）

問い合わせ先：松田淳子（京都九条病院） jmatsuda1942(a)gmail.com ※(a)を@に置き換えてください。

申込方法：日本理学療法士協会ホームページ（<http://www.japanpt.or.jp/>）研修会案内からお申込み下さい。

介護の日講演会

「高齢社会は県民全体で支えるものという考え方を県民に広く啓発し地域支援の充実を図ることを目的に「介護の日」講演会を開催します。

演題：「若年認知症家族の思い～地域サポートと共に～」

講師：干場 功 日時：2013年11月20日（水） 時間：14:00～16:30（開場13:30）

会場：浦添市てだこホール（大ホール） 入場料：無料

主催：社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会 沖縄県介護実習・普及センター

※詳しくはこちら⇒沖縄県介護実習・普及センター <http://www.okishakyo.or.jp/kaigozisyu/>

沖縄物理医学研究会研修会のご案内

【主催】沖縄物理医学研究会

【日時】平成25年12月14日（土）09:30～16:30（09:00受付開始）

12月15日（日）09:00～12:30（08:30受付開始）

【場所】沖縄リハビリテーション福祉学院 6F

【内容】「運動療法（予定）とSJF技術」

障害に対する考え方（講義）、治療的検査法、関節内運動機能障害に対する治療技術

「関節ファシリテーション（SJF）技術」

呼吸障害、拘縮治療に対する技術、臨床におけるSJF使用方法の紹介を講義と実技を合わせて行います。

※今回は、補助講師として学会理事、支部長、総勢27名が参加します。臨床で治療効果が出せず悩んでいる方、SJF技術に対して懐疑的な方、是非一度SJF技術を体験し、見て下さい。臨床で問題解決の糸口になるかもしれません。関節とついていますがこの技術は全ての障害に使用できる技術になります。

【講師】主講師：宇都宮初夫先生（JM研究所 所長 SJF学会理事長）補助講師：SJF学会理事、各支部支部長

【受講料】SJF会員5000円、非会員6000円（土）のみ4000円、（日）のみ3000円

【問合わせ】沖縄PM研究会事務局 北城整形外科 PT 渡久地 TEL（098）930-7777

【申し込み】okinawapmr@yahoo.co.jpまで以下の項目を入力しお申し込み下さい。3日以内に返信を行います。迷惑メールに入ることもありますのでご確認下さい。

①氏名②性別③施設名④職種⑤免許取得年⑥常時連絡が取れる番号（携帯番号）⑦懇親会参加の有無

平成25年度成人片麻痺における環境適応講習会<in 沖縄>

日時：平成26年2月21日 19:00～21:00、2月22日 9:00～18:00、2月23日 9:00～18:00

テーマ：『Activity（講義&実技）』

講師：柏塾 塾長 作業療法士 柏木 正好 介護老人保健施設舞風台 作業療法士 永田 誠一
大浜第二病院 作業療法士 新里 順治

会場：大浜第二病院 ふれあいホール・理学療法室（沖縄県豊見城市字渡嘉敷150）

主催：環境適応講習会

対象：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 ※必ず3日間受講できる方のみお申し込み下さい。

定員：100名 内容：講義、実技、デモンストレーション

参加費：12,000円（振込手数料、懇親会費・弁当代別）※振込先は受講可否決定時にご連絡致します。

懇親会：2日目終了後に懇親会を予定しております。是非ご参加下さい。

申込方法：パソコンからのE-mailより、以下の内容を明記の上ご送信下さい。

1.施設名、2.施設住所、3.電話番号、4.氏名、5.職種、6.経験年数、7.環境適応講習会受講の有無、8.Bobathコース受講の有無、9.懇親会参加、10.メールアドレス、11.昼食希望

※詳しくは、環境適応講習会ホームページ <http://www.kanteki.net/> をご覧下さい。

申込締切：平成25年12月中旬

問い合わせ・申し込み先：沖縄環境適応講習会 事務局okinawa@kanteki.net(@は半角@に直してご送信下さい。)

〒901-0215 沖縄県豊見城市字渡嘉敷150

TEL098-851-0102 介護老人保健施設 はまゆう リハビリテーション科：渡慶次裕治

マイオチューニング (MT) アプローチ講習会のご案内

日時：平成25年12月1日（日） 10：00～16：30（受付：9：30～）

会場：現在調整中により参加者へは追って連絡致します。 主催：沖縄県MTアプローチ勉強会

講師：アメニティーライフ研究所 中野 昭二先生

内容：①MTA手技（上肢、下肢、頸部、腰部など）②疼痛やそれ以外の問題により困っている症例への治療実施。③臨床で困っている症例についての助言等。

会費：会員：5,000円（※一度当講習会へ参加した方対象） 会員外：10,000円 定員：30名程度

※参加費は当日徴収となりますので宜しくお願い致します。

申込み方法：下記記載のメールにて『MTA講習会参加希望』という件名を記載し、必要事項を記載して申し込みをして下さい。施設の代表者が申し込む際には、それ以外の申込者の①～③も記入した上で申し込みを宜しくお願い致します。①氏名（フリガナ） ②施設名 ③連絡先（携帯番号）

【申込み先E-mail: h-tengan@group.omotokai.jp】

問合わせ先：沖縄リハビリテーション福祉学院 担当：天願 TEL:098-946-1000 FAX:098-946-1999

第5回 沖縄県心臓血管リハビリテーション研究会

日時：2013年11月18日（月）19:15 場所：沖縄県医師会館3F ホール

一般演題 演題Ⅰ「当院における運動負荷試験について」沖縄協同病院 理学療法士 金城 美奈子先生

演題Ⅱ「当院における冠動脈バイパス術後の心臓リハビリテーション」

豊見城中央病院 心臓血管外科 部長 山内 昭彦先生

特別講演「心臓外科術後リハビリテーション～重症症例への対応を中心に～」

東京工科大学 医療保健学部 教授 高橋 哲也先生

心臓リハビリテーション学会認定指導士更新のための資格 5単位取得

対象者：Dr、Nrs、PT、OT、その他コメディカル 申込方法：事前申込は不要 共催：第一三共株式会社

参加費：100円

【平成25年度 沖リハ同窓会勉強会】

小勉強会① [テーマ] スポーツ領域における理学療法～スポーツを理学療法から考える～

[講師] 新垣 貴大 先生 [日時] 平成25年12月7日（土）18:30～（受付：18:00～）

[会場] 沖縄リハビリテーションセンター病院 [定員] 40名

[対象] 医療従事者 [受講費] 同窓生800円（会費納入済み者）、同窓生外1,000円

[申込み] 平成25年11月1日（金）～12月6日（金）まで※実技があるため動ける服装にて参加お願いします。

小勉強会② [テーマ] 変形性膝関節症について

[講師] 宜保 幹雄 先生 [日時] 平成25年12月13日（金）19:00～（受付：18:30～）

[会場] 沖縄リハビリテーションセンター病院 [定員] 40名 [対象] 医療従事者

[受講費] 同窓生300円（会費納入済み者）、同窓生外500円

[申込み] 平成25年11月1日（金）～12月13日（金）まで

[申込方法] メールでの申し込みとなります。

宛先：okireha.dousoukai@gmail.com

件名：「①小勉強会」「②小勉強会」

内容：①氏名、②所属、③同窓生（卒業期）or同窓生外

[問合先] 沖リハ同窓会学術部：座安 真理（与那原中央病院）

問合せ先：okireha.dousoukai@gmail.com

[お願い] 受付時の混雑予防の為、必ず事前申込みの上ご参加下さいますようお願い致します。

平成25年度 沖縄県理学療法士協会 献血推進事業

献血（11月献血強化月間）への協力お願い
『献血』という『人命救助ボランティア』
にご協力ください。



実施目的：沖縄県の血液在庫事情を安定させ、県民の救命・健康維持に役立てる。
開催期間：平成25年11月1日～11月30日
献血場所：くもじ献血ルーム（パレットくもじ隣へ移転しました）
移動採血車：ジャスコ具志川店・北谷店（ほぼ毎週日曜日12：00～）
対象者：沖縄県理学療法士協会会員と目的に賛同する全県民。
問合せ先：ファミリークリニックきたなかぐすく 098-935-5517（代表）
通所リハビリ：宮里朝康（渉外部部長）
11月10日（日）沖縄県理学療法士学会（琉球リハビリテーション学院で開催）にて、
12：00～17：00まで移動採血車が配置されますので、献血へのご協力をお願いします。

「やろーよ献血 ハートに近い贈り物」

広報部便り

本誌へ研修会案内の掲載をご希望の場合は、当会HPより「広報誌掲載申込書」をダウンロードし、申込書へ必要事項を記入後、当協会事務局まで郵送して頂きますようお願いいたします。尚、掲載の可否については当会の事業目的に照らし、判断いたします。尚、毎月10日締切で翌月号への掲載となります。

[沖縄県理学療法士協会HP：<http://www.oki-pt.jp>]

★掲載内容は概ね300字を目安としています。これまで掲載されていた研修も文書の発行をお願い致します。

【研修案内に関する問い合わせ】

沖縄県理学療法士協会事務局

098-930-5023(月～金曜日9：00～18：00 担当：比嘉)

optaoffice@oki-pt.jp

理学療法士募集 (業務拡張の為)

募集人員：若干名

待遇：正社員(試用期間3ヶ月)

勤務時間：午前8時30分～午後5時30分
午前9時00分～午後18時00分

休日：年間109日(日曜他1日休み)
(シフト制)

給与：年俸制(2,580,000円～3,640,000円)

待遇：各種社会保険完備
無料駐車場完備
交通費別途支給(上限あり)

応募方法：電話にて御連絡下さい。施設案内、面接日を調整いたします。
(担当：総務・喜友名まで)

コザクリニック

沖縄県沖縄市仲宗根町19-1

TEL：098-938-1038